

2月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

127,054円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松用紙代・インク代)	57,968円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	11,666円
通信費(折込代、携帯電話代)	57,420円
支出計 24/2/1~24/2/29	127,054円

市政を考える 月刊武松

発行日
24/3/1

第217号

19400部発行

たけまつ ただし
頒布責任者：武松 忠(市議会議員)

2024年度予算案について 予算総額1977億円 一般会計765億円 共に過去最大

国の脱炭素移行やデジタル関連予算が加わり、予算総額、一般会計共に過去最大となりました。

■予算案の特徴

子ども・子育て支援	95億円
脱炭素移行	13億円
デジタル・トランスフォーメーション(DX)	4億円
大規模災害に備えた取組	10億円

■2024年度予算規模

歳入は、固定資産税の評価替えのため税収減となりました。市税が317.5億円2.20%減の見込みです。図1の義務的経費は3.54%増。その他経費は、0.14%減。そのうち人件費は定年延長による過渡期の為、122.3億円(8.29%増)となっています。投資的経費は、橘地区認定こども園の整備事業、学校給食センター整備等で6.31%増です。

図2の義務的経費中の扶助費は、205.9億円0.93%増となりました。

一般会計	765億0000万円(+2.27%)
特別会計(10会計)	764億3518万円(-4.67%)
企業会計(3会計)	447億9378万円(+30.5%)
全会計(14会計)	1977億2896万円(+4.45%)

■一般会計予算の特徴

主な歳入

(1)市税	317億4600万円(-2.20%)
(2)地方交付税	35億0000万円(+25.0%)
(3)市債(借金)	44億1180万円(+10.9%)
うち臨時財政対策債	4億0000万円(-42.8%)

歳出

(1)投資的経費：道路、施設等整備	73億4103万円(+6.31%)
(2)義務的経費：人件費+扶助費+公債費	382億7813万円(+3.54%)
人件費	122億2875万円(+8.29%)
扶助費	205億8521万円(+0.93%)
公債費(借金返済)	54億6418万円(+3.54%)
扶助費：生活保護、障害者支援、保育所運営、医療費助成	

図1 一般会計歳出(性質別当初予算)

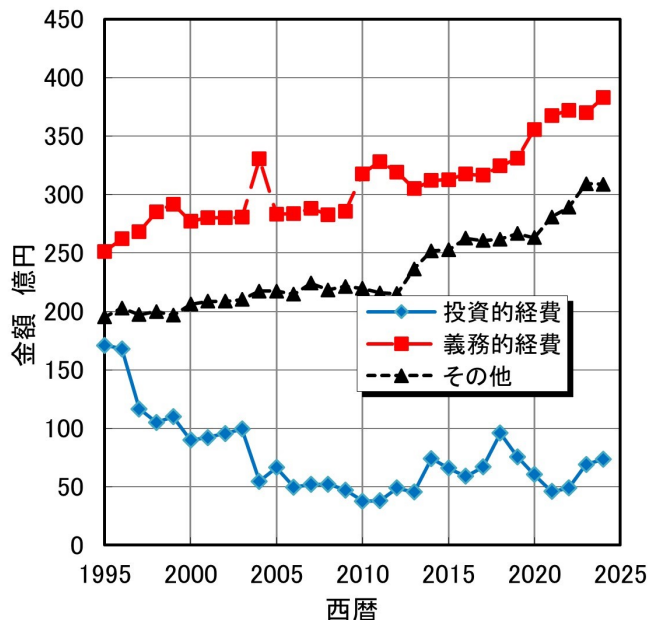
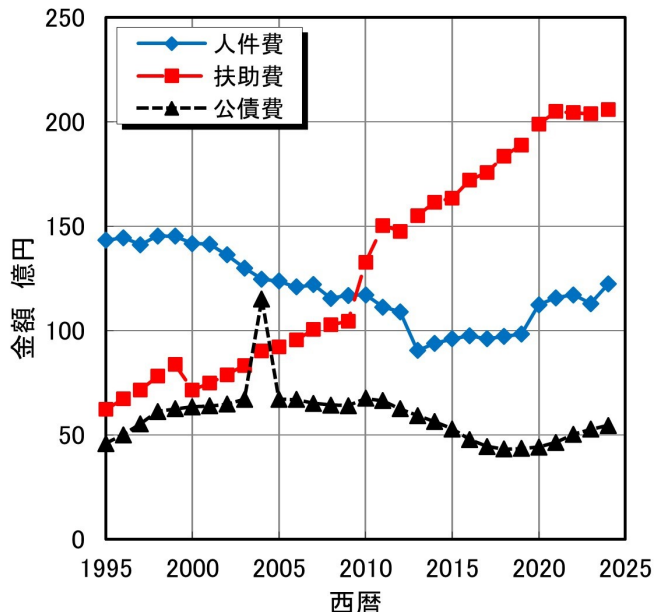


図2 一般会計歳出 義務的経費内訳



主な事業の予算額

■一般会計の主な事業の予算額

新年度の特徴的な予算を以下に列記します。図3は、主な費目別歳出の推移を示します。

民生費 323.1億円 (+11.6億円)

- 生活保護費 65億1466万円(+ 3344万円)
 - 児童福祉費 99億5081万円(+3億9388万円)
 - 障害者福祉費 59億2644万円(+3億5943万円)
 - 小児医療費助成 5億8135万円
- 所得制限を設けず、対象年齢を満18歳年度末まで拡大

総務費 96.2億円 (+3.37億円)

- 市有建築物長期保全事業 6億5998万円
公共施設包括管理委託料他
- デジタル化推進費 8億8142万円
行政基盤のDX（システム標準化対応他）

教育費 80.7億円 (+3.6億円)

- 支援教育推進事業 3億5929万円
個別支援員増員、小学校校内支援室支援員配置
- 教育環境の整備 8億9509万円
物価高騰等に対応するとともに、安定的に学校給食を提供

土木費

- 再開発事業補助 1億7797万円

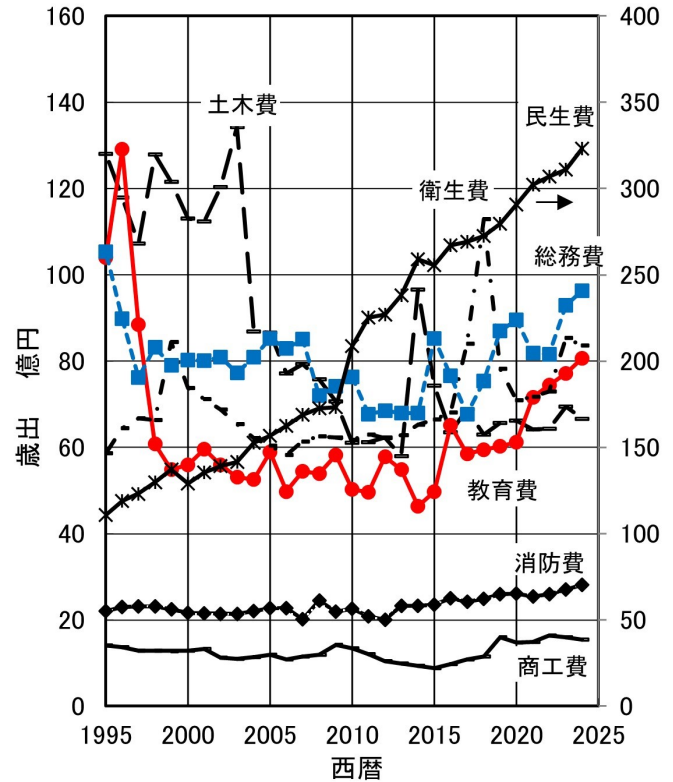
衛生費他

- 脱炭素先行地域づくり事業 8億3416万円
照明LED化や民間施設の再エネ・省エネ設備の整備費補助
- ごみ収集運搬事業 7億7851万円
かん類・びん類の収集回数を月1回から2回に増加

■特別会計

競輪事業	266億3000万円(-14.1%)
大型大会開催担当場とならなかった為	
天守閣事業	1億3800万円(+2.99%)
国民健康保険事業	201億6500万円(-1.87%)
国民健康保険診療施設事業	3000万円(-3.23%)
公設地方卸売市場事業	2億1200万円(+16.5%)
介護保険事業	178億6000万円(+1.81%)
後期高齢者医療事業	57億5500万円(+11.1%)
公共用地先行取得事業	2億0918万円(急増)
広域消防事業	47億6100万円(-0.21%)
地下街事業	6億7500万円(-13.9%)

図3 一般会計主な歳出推移(当初予算)



■企業会計

水道事業会計	68億3004万円(+26.8%)
病院事業会計	260億0980万円(+54.8%)
新病院建設事業	103億5059万円
下水道事業会計	119億5394万円(-1.50%)

ゼロカーボンデジタルタウン

小田原少年院跡地に計画されているゼロカーボンデジタルタウン。事業の流れが明確になりました。

- ①市が基本構想で街の方向性のコンセプトを提示
- ②開発条件の設定は、財務省と市が協議
- ③国による二段階一般競争入札の方法を用いた用地取得者の決定
- ④用地取得者が、開発事業者となり街を開発
- ⑤街の管理・運営は、まちづくり会社等が担当

この手法により市は、用地取得費を負担することなく開発を誘導し、**用地取得費を含む開発事業費は、開発事業者が負担する。**

■3月議会報告会のお知らせ■

3/23(土)18~20時 UMECO 会議室9

テーマ：2024年度予算について 参加費：100円

終了後、有志で懇親会を行います。(実費)



公式HP

月刊武松パナパニ他



twitter

防災・感染症情報



facebook

日々の情報など



小田原市令和6年度

当初予算の概要

